

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 大規模災害用備蓄器具等整備事業（泡消火剤等購入）	
区分	番号	名称	
章	2	自然とともに暮らすまち	
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	
施策	2	消防・救急救助体制の充実	
小分類	2	消防力の強化・高度化	
主要な施策	4	広域消防体制の整備と消防施設の適正配置	
事務事業番号	001	事務事業コード	23224001
		事業開始年度	平成 1 9 年度
		事業終了年度	平成 - 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名
			大規模災害用備蓄器具等整備事業費
部 名	消防署	グループ名	警備 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 大規模災害用備蓄器具等
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 市内の危険物施設等の火災や応援協定に基づく石油コンビナート火災に対応するため、水成膜泡消火剤を計画的に備蓄整備する。 平成 1 9 年度購入 20ℓポリ缶 20缶 計400ℓ 備蓄量（平成 2 2 年 6 月 1 9 日現在） 20ℓポリ缶 39缶 計780ℓ
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 化学消防車の薬剤タンクが500ℓであり、備蓄量をタンク2倍の1000ℓと算定し計画的な備蓄整備を図りたい。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	水成膜泡消火薬剤	目標値				220	
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円				462		462
合 計				0	0	0	462	0	462
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		0	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内の危険物施設等の火災や応援協定に基づく近隣の石油コンビナート火災に対応するための備蓄整備であり、市が実施することが妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 市内の危険物施設等の火災や応援協定に基づく近隣の石油コンビナート火災に対応できる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 計画的に備蓄整備することにより、災害に対応できる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 備蓄目標値に向けて計画的に整備しなければならないためコストを削減できない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	危険物施設での火災では、多くの消火薬剤を必要とすることから計画的に整備を図りたい。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）